

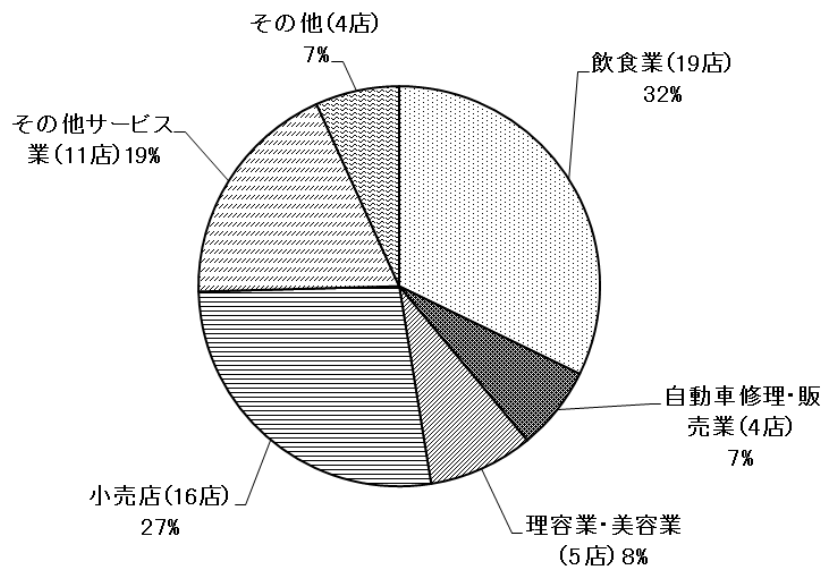
消防団サポート店アンケート調査結果報告書

平成27年12月
鹿沼市消防本部消防課 作成

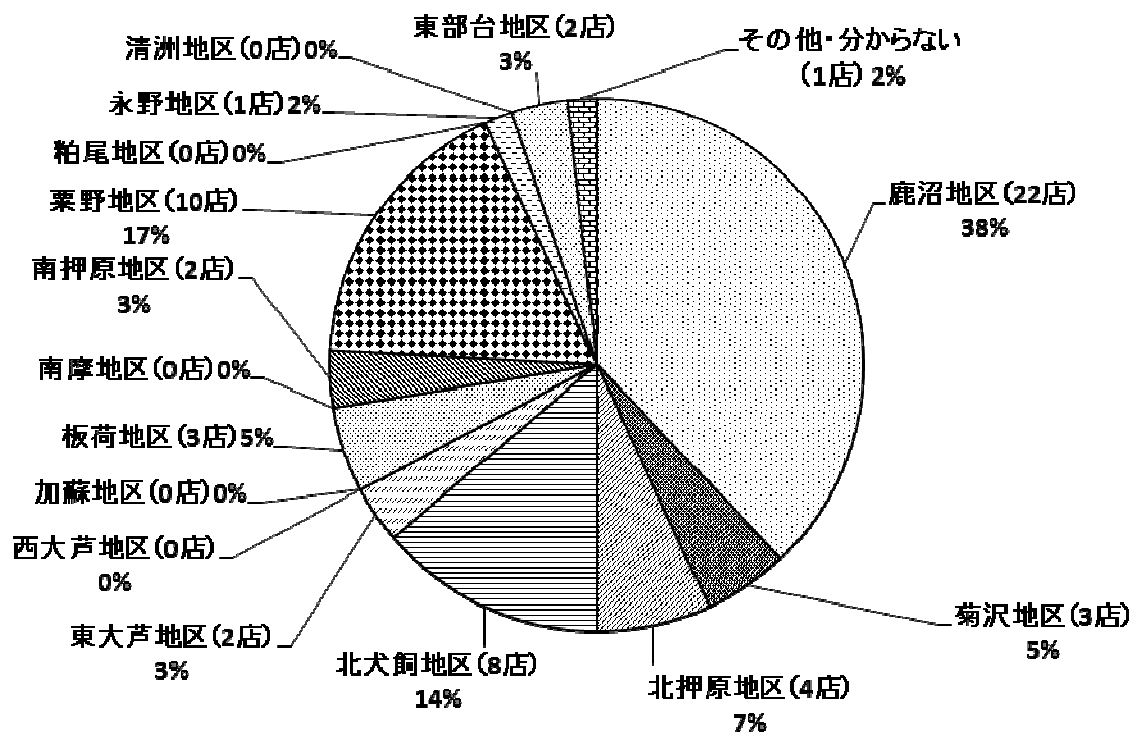
アンケート調査概要

- 1 目的 消防団サポート店事業を開始して1年半が経過し、今後、本事業の改善と拡充を検討する参考資料とするため
- 2 調査時期 平成27年10月28日(水)～11月16日(月)
- 3 実施方法 郵送による配付、回収
- 4 対象 全ての消防団サポート店(104店)
- 5 回収数 59件(回収率56.7%)

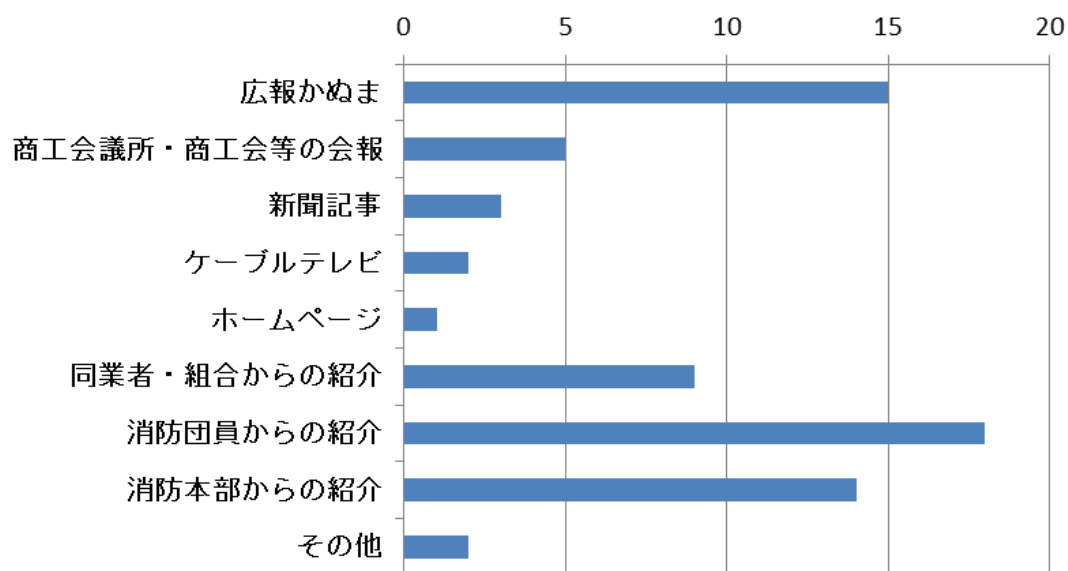
問1 貴店の業種を教えてください。(最も近いもの1つ)



問2 貴店の所在する地区を教えてください。

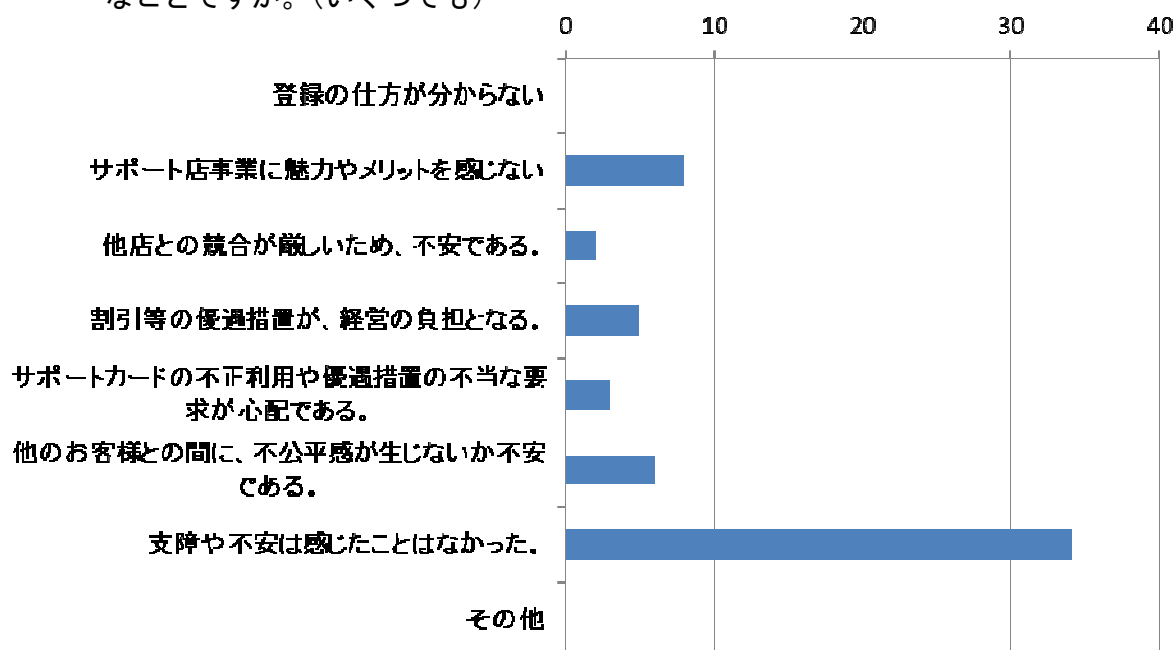


問3 消防団サポート店事業をどのように知りましたか？（いくつでも）



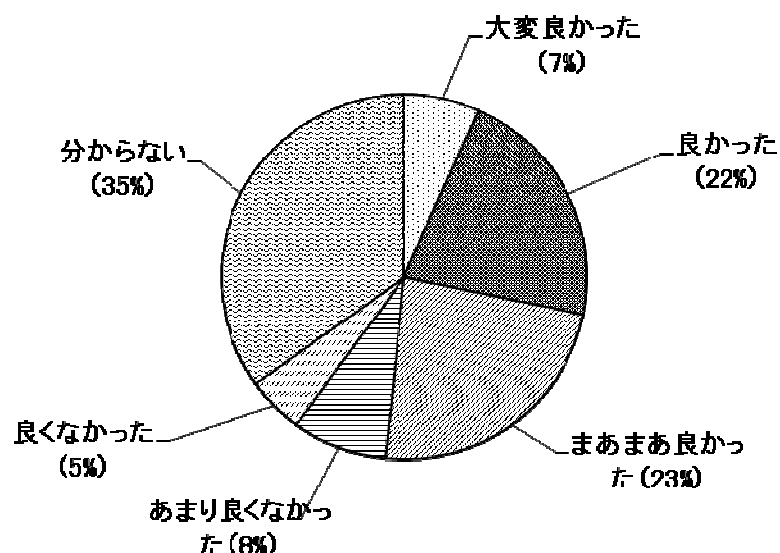
「消防団員からの紹介」が最も多く、次に「広報かぬま」、「消防本部からの紹介」の順に多い結果となった。「その他」は、「顧客からの紹介」などであった。

問4 消防団サポート店に登録する際に、支障に感じたことや不安に思ったことはどんなことですか。(いくつでも)



「支障や不安は感じたことはなかった」が大半を占め、消防団サポート店に登録に際しての支障や不安は概ね無かったようである。

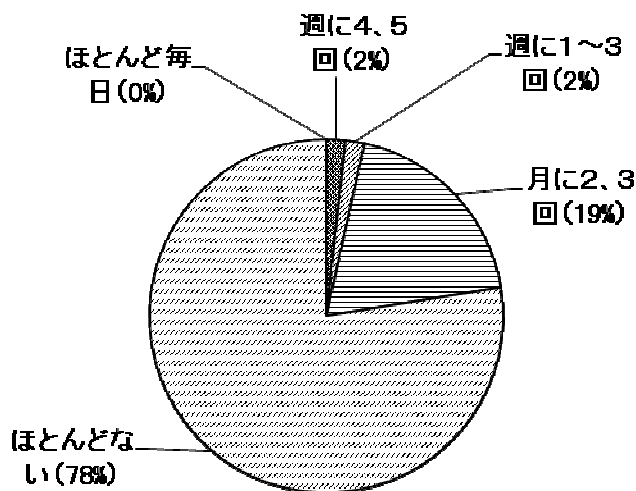
問5 消防団サポート店事業に登録し、どのように感じていますか。(最も近いもの1つ)



「大変良かった」、「良かった」、「まあまあ良かった」を合わせると約52%を占めており、概ね良かったと感じているようである。

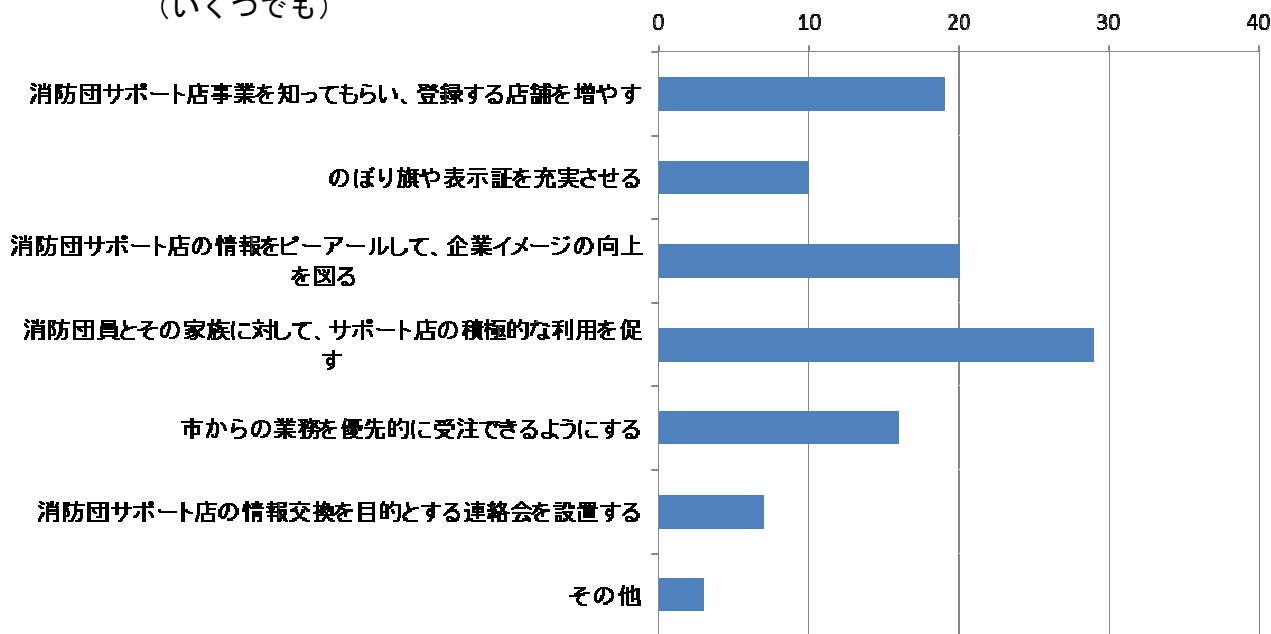
「分からない」が35%を占めて、最も多い結果となった。

問6 貴店では、消防団員やその家族がサポートカードをどれくらい利用していますか。
(最も近いもの1つ)



「ほとんどない」が約78%で大半を占めており、サポートカードの利用が少ない店、又はまったく利用がない店が多い結果となった。

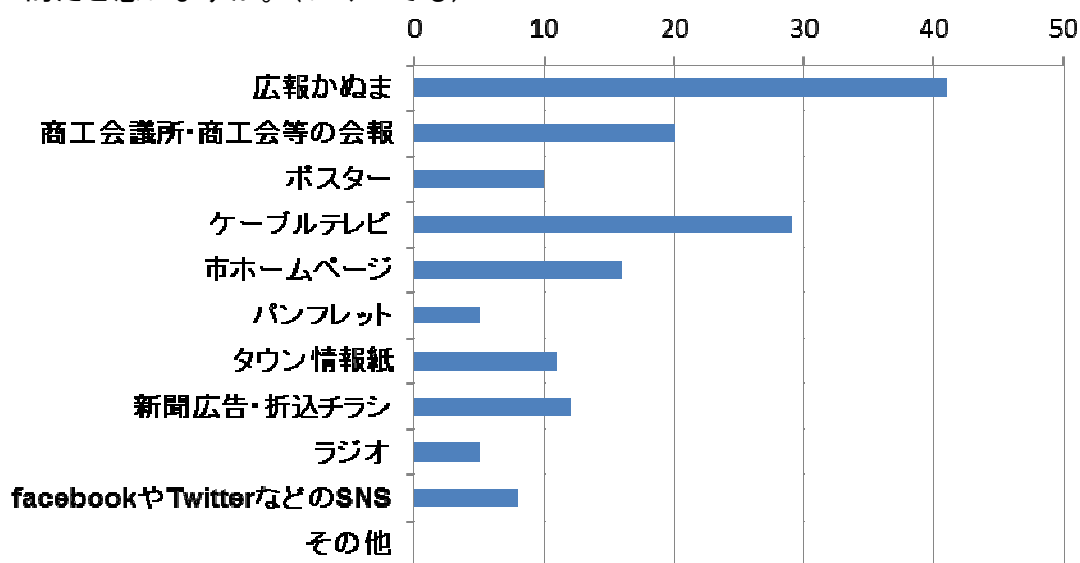
問7 消防団サポート店事業を充実するために、必要だと思うことはどんなことですか。
(いくつでも)



「サポート店の積極的な利用を促す」が最も多く、次に「登録する店舗を増やす」、「ピーアールして、企業イメージの向上を図る」、「市から優先的に受注できるようにする」の順に多い結果となった。

「その他」は、「メール会員登録制度」や「パンフレットの作成」などであった。

問8 消防団サポート店事業を幅広く知ってもらうために、どのようなメディアが有効的だと思いますか。(いくつでも)



「広報かぬま」が最も多く、次に「ケーブルテレビ」、「商工会議所・商工会等の会報」、「市ホームページ」の順に多い結果となった。

問9 その他消防団サポート店事業に関して、自由にご記入ください。

(1) サポート店の利用について

- ・サポート店の認識が少なく、カードの提示を忘れる消防団員がいる。
- ・カードを提示しないことがあり、利用を遠慮しているのではないか。
- ・有意義な事業ではあるが、利用が少ない状況である。
- ・もっと多くの消防団員と家族に利用して欲しい。

(2) 拡充に関する提案

- ・広告宣伝など、サポート店側のメリットがあると良い。
- ・テレビでの宣伝は効果が高いと思う。
- ・サポート店同士の交流、サポート店が相互に利用できる制度があると良い。
- ・特別な優遇チケットやパンフレットを配布し、利用促進を図る。
- ・サポート店と消防団員との交流イベントを開催する。

(3) その他

- ・消防団員もその家族も関心がないように思う。
- ・消防団員を支える妻や家族を懇親会に呼んで、一緒に労ってはどうか。
- ・利用やメリットがないため、サポート店を辞めたい。
- ・消防団のイベントなどにサポート店として協力したい。